



問

人口減少を食い止める方法として宅地分譲が可能か？

答

不可能ではないと考えている（町長）

1、美里Super Townプロジェクトについて

問

役場から松久駅にかけての県道東側は、県の

企業局による新たな産業団地約8ヘクタールの計画。一方、県道西側については、今後の高齢化社会や小中一貫校が実現した際の利便性を考え、食品等生活必需品の店の誘致を考えているとありましたが現在の松久駅北口計画や美里Super Townプロジェクトの進捗状況をお聞かせ下さい。

町長

町では、今後の少子高齢化の人口減少の中でも住み続けられてる地域社会を目指しています。その中心

となるのが、生活複合ゾーン、産業系ゾーン、教育交流ゾーン、住宅系ゾーンが集約立地する中心拠点地の整備でございます。

産業計画ゾーンでは用地買収に先立ち、農地転用の調整に手間取りましたが、6月21日には地権者へ説明を行い、土地売買の契約を進めて行く運びとなりました。又、教育交流系ゾーンにおいては統合小学校の建設に向け、建設検討委員会の活動を本格化させています。

商業系の企業誘致については、個別のアプローチ、県主催のマッチングイベントの参加など幅広い情報発信、働き

かけに取り組んでおり、その結果幾つかの企業が興味を示しています。

次に松久駅北口計画ですが、商業施設、産業施設ができ賑わいを創出するためには、駅利用者のエリアへのアクセス向上も大切になってまいります。JR東日本には駅北口開発の整備を要望しています。

問

人口減少を食い止める方法として地方へいく

と自治体が宅地分譲しているところがありますが、美里町では可能なのかお伺いします。

町長

美里町が選ばれるような仕掛けをそこにはめ込んでいけば、この美里Super Townプロジェクトの

中で宅地分譲ができるだろうと私も考えています。不可能ではないと考えています。

2、町長への手紙・町長へのメールについて

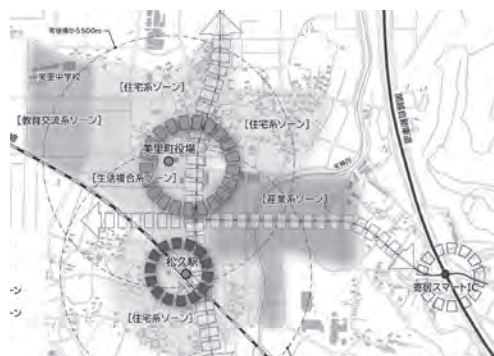
問

町民より寄せられた町長の手紙や町長への

メールの対処方法をどのようにしているのか、又、今までに何件くらいあったかお聞かせ下さい。

町長

町長への手紙や町長へのメールは、町民の皆様からの町政に対する意見や提言、今後のまちづくりに反映させる制度として実施しています。私自身が必ず目を通



し内容に応じて文章や電子メールで回答し、公開を希望する方にはホームページで公開しています。

総務課長

令和2年度から令和6年度の5年間で合計36件のご意見、ご提言をいただいています。その内容については広報みさとの掲載内容や町政に対する意見、道路照明灯の要望など多岐にわたります。



自治体DXとメタバースの推進について

答

限られた人的資源や経済的資源、AIを含めたデジタル技術を効率よく活用していく必要があると考えている（町長）

問

DX推進状況について今後どの様に進めていくのか。

町長

地方自治体が自らの行政サービスを維持向上させていくためには、限られた人的資源や経済的資源、AIを含めたデジタル技術を効率よく活用していく必要があります。デジタルトランスフォーメーションを推進するに当たっては、自治体自身や関係業者のみにとどまることなく、そこに生きる住民とその意義を共有しながら進めていくことも重要だと考えております。

問

美里町でのDX推進に伴い、AIやRPAの

今後の利用推進の考えを、答弁ください。

町長

業務の効率化という点においては、行政専用の生成AIを2種類導入しております。また、AIにより会話の内容を要約する機能を備えた文字起こしツールの3つのAIサービスシステムを導入しております。RPAにつきましても、定型業務を自動化でき、ヒューマンエラーの防止や生産性の向上が見込めるサービスであると認識しております。導入に向けて無料トライアル等を実施してきましたが、費用対効果が見込めなかったため、過去に導入を見送った経緯がございます。

問

埼玉県ではバーチャル埼玉なるメタバース空間がありますが、美里町でのメタバースをどのように考えているのかご答弁ください。

町長

導入に多くの費用がかかります。他自治体の活用例や町の実態とメタバースにおけるメリットの整合性を見極めた上で、利活用について研究してまいります。

問

ミムリンパークと産業団地の公園の管理について、クローバーに侵食されるから予算下さいみたいなのが一番懸念していたところで、共存するというのも一つの手段だと思うのですが、共

存させるのにも手入れは必要だと思うので、これからの方向性を教えていただければと思います。

町長

現状は芝刈り等に対応しますが、あまりにもひどくなってくると、やはり入場制限をするなどの方法を取って薬剤を散布するというのが必要になり、現在管理している方からも薬剤散布しないと難しいよという話はされていますので、状況を見ながら検討していきたいと思っております。

問

校務DXの推進について

教育長

令和4年度からは統合型校務支援システムを



<https://virtual-saitama.pref.saitama.lg.jp/>

導入し、学籍、成績、保健管理や教職員間の情報共有のデジタル化を進めており、これにより教職員の資質向上と事務の効率化を図っております。



水道料金について

問

令和7年水道事業会計予算特別委員会における水道事業会計予算の審査で『一般会計から5,000万円の繰入れをしているが、損益計算書上赤字となっている。本庄市は40%の値上げで問題になっているが、値上げをしなくても大丈夫か』と質疑したところ、『今現在是一般会計から5,000万円の繰入金に頼らざるを得ない状況で、今後は繰入金を少なくしたい。また、県水も8年度から約20%値上げの料金改定が見込まれ、その他人件費や物価高

問

物価高騰を考慮し、一般会計からの繰入金を増額し、値上げをしない解決方法はないのか

答

県水の単価が21%値上げされることも決まったため、早期に料金改定を実施する必要があります（町長）

騰等もあるため、一定部分を水道料金に転嫁し、使用者に負担してほしいと考えてます。来年度は水道料金の改定を検討するため、上下水道審議会で審議したい。』と答弁がありました。

物価高騰が続く社会を考慮して、一般会計からの繰入金を増額し、値上げをしない解決方法はないのか伺います。

町長

水道事業の経営は、水道の使用料に応じた収益負担による料金収入に基づき、企業としての経済性を発揮して、適正かつ能率的に運営することで、清浄にして豊富低廉な水の供給を達成することが求められています。し

かしながら、水道事業の収支は、現状では事業運営に係る経費を料金で賄えていないため、不足額を補助金として一般会計から水道事業に繰り入れております。このことにより、最終的な収支は黒字となっておりませんが、この補助金額は国が示す公営企業に対する繰出基準の範囲を超えており、健全な企業経営を達成するために、今後は削減していくかなければならない課題です。

さらに、令和8年度からは県水の単価が21%値上げされることも決まったため、早期に料金改定を実施する必要があります。料金改定に当たっては、上下水道事業審議

問

会において審議していただく予定ですが、一定の負担増はお願いをせざるを得ないと考えております。

県水の21%値上げの影響を考慮した、上下水道事業審議会はいつ頃か。

町長

令和8年から県水の値上げが予定をされており、数か月以内には第1回は開催できればと考えております。

問

上下水道事業審議会の中で、値上げをしたくない、そんな意見でまとまるようなことがあった場合、町としてはどんな判断をするのか。



町長

提案をしていき、委員さんの皆様方のご意見も伺って、審議会の答申を得ていただくような仕掛けを考えていきたいと思っています。



マウンテンバイクによる観光スポーツ振興

問

美里町は、豊かな自然環境と歴史的資源を有しております。近年、自然環境を生かしたアクティビティが全国的に注目を集めており、マウンテンバイクによる観光スポーツ振興は、地方創生の一環として導入する自治体が増加しています。陣見山の自然を活用し、環境に配慮したコースの整備と地域振興を一体的に進める構想を提案したいと思います。

想定されるコースは、トレイル・自然散策、初中級者向け、ダウンヒル・山頂から一



気になる本格的な滑走、ヒルクライム・登坂力を試す上り坂中心、4クロス・急カーブや起伏ありの技術系。想定される付帯設備やサービスは、駐車場、トイレ、自転車洗車スペース、レンタルショップ、修理拠点、食堂や喫茶店、頂上テラスレストラン、宿泊施設、地元農産物の直売所、初心者向けマウンテンバイク教室、体験イベント。

問

陣見山を活用したマウンテンバイクコース開発による地域活性化について

答

運営を希望する事業者や関係者の方からお話を伺って、可能性を模索するところから始めたいというふうに考えております（町長）

地域イベント、企業誘致の可能性として、JCF公認大会、地域主催のファミリー向けイベント、グローバル企業の誘致、大会。

このようなことから地元への波及効果として、交流人口の増加、観光消費の拡大、若年層やファミリー層の来訪による町の知名度、印象アップ、地元雇用、健康増進、環境教育にも資する拠点形成にもなりつると思います。

陣見山を活用したマウンテンバイクコース整備に関して、現時点でのお考えを伺います。又、この提案をして下さった高校の方々、まとめてくれた町民の方、熱意のある若者と

の連携はどうでしょうか。

町長

壮大な計画をご提案頂きました。マウンテンバイクやキャンプ場は近年非常に人気が高まっており、こうした自然環境を生かしたアウトドア事業は、多くの都市住民や観光客から関心を集めており、地域への交流人口拡大につながる可能性がります。さらに、地域資源として地元食材や特産品のお土産販売などもあわせて展開すれば、地域経済の活性化や資源循環型モデルの構築にも大きく寄与すると思われます。しかしながら、陣見山の多くは保安林で制限をされております。又、地権者や地域住民のご理解、ご協力なくしては進められません。運営を希望する事業者や関係者の方からお話を伺い、可能性を模索するところから始めたいというふうに考えております。

